



遼寧省沿海部の5つの重点的開発地域について（五点一線戦略）

●富山県大連事務所副所長 田中 雄一

1. 「五点一線戦略」の概要

遼寧省人民政府の本年1月21日発行の「文件」で所謂「五点一線戦略」が示されました。五点とは沿海部の5つの重点的開発地域を指し、それらを省の海岸線（一線）沿いに経済発展のためリンクさせようとするもの。

5つの地域は北朝鮮国境の街である丹東の産業園區、丹東から大連に西進する高速の途中にある大連花園口工業園區、大連北部郊外に位置する大連長興島臨港工業区、さらに大連瀋陽高速で北上したところにある営口の沿海産業基地、最後に天津・北京に向かう途中に位置する遼西錦州湾沿海経済区から成ります。

本年と来年の2年間は以下のような優遇政策が供与されるものです。

- ① 5地域が省に上納する諸税金の2005年実績対比での増加分7割を各地域に還付の上、インフラ施設の建設や産業建設に投資させる。
- ② 5地域に開設した「ハイテク企業」は認定を受ければ15%の税率適用となる。
- ③ 5地域に新設の中国の「ハイテク企業」は利益の出た年度から2年間所得税免除。
- ④ 省の中小企業信用保証センターは条件を満たせば、銀行融資への保証を提供。
- ⑤ 以下、詳細につき情報が必要であれば、富山県大連事務所にお問い合わせ下さい。

2. 意義と問題点

遼寧省は東北振興政策もあり、大連・瀋陽を中心にインフラ整備・企業誘致が盛んですが、今回の戦略は沿海部の

開発（塩田の有効利用等で）を進め、「点」から「線」に産業ベルト地帯を確立させようとするもの。上記優遇策も外国資本向けというより、地元へのインフラ建設奨励と中国国内企業の同地域進出を奨励する色彩が強い。昨年も大連での丹東市商談セミナーの席上、多くの丹東での「内内合作（国内企業間の合作）」の調印セレモニーが行われましたが、外国企業もさることながら香港・台湾は勿論、上海・温州等華東地域など国内企業誘致及び省内の企業育成に主眼が置かれている感もあります。遼寧省及びこれら5地域の開発への意気込みは強いものがあります。

一方、マイナス面ですが、まず環境面への負荷があります。中国人学識経験者の中には塩田や海浜を工業化することに環境面の代償の大きさを指摘する向きもあります。（否定的な意見があるのはある意味健全ですが、少数意見ではあります。）また、地域間の開発競争に繋がる恐れはあります。5つの地域は固より、選定のなかった遼寧省内の地域の産業誘致の動きもここへ来て非常に目立ちます。各地域が協調して誘致活動を行えばいいのですが、無秩序な競争になりますと資源の浪費や設備の過剰等の産業構造の歪みが発生してしまいます。

尤も遼寧省だけでも4千万人強の人口を有し、東北三省では人口1億人超えます。また、北京・天津等に近い距離にある地域もあり、人口2億人程度の環渤海経済圏も考えると発展の可能性も大きく、注目に値する戦略かと存じます。

以上